

長崎県学ぶ保育士等応援事業

# 園内研修ガイドブック



令和6年6月

長崎県幼児教育センター

このガイドブックは、令和6年度の長崎県学ば保育士等応援事業補助金の要件となっている研修に取り組んでいただくことを目的として、作成したものです。

これまで園内で実施されている研修全てをこの内容や手法に変えて実施することを求めているものではありません。

「長崎県学ば保育士等応援事業補助金」は、以下の趣旨や目的で実施するものですので、この事業の補助金を受けようとする場合は、このガイドブックに沿って園内研修を実施していただくようお願いいたします。

### 【本事業の趣旨】

この事業は、幼児教育・保育の質の向上及び保育者の離職防止を図るため、園内研修を実施する施設の保育者に、一人当たり年間2万円の手当等を支給する事業です。

事業を検討した背景としては、保育施設では、保育者同士が語り合う場や時間的余裕がなく、ある意味、閉鎖的になりがちな保育環境が、昨今の不適切保育や保育中の事故などにもつながっている事が指摘されており、国においても75年ぶりとも言われる保育士の配置基準の改善や更なる処遇改善が予定されているところです。

こうした状況の中、県としては本事業をきっかけに、普段から保育者の方々同士で子どもたちの育ちについて、対話が進む園環境となることを期待しています。

#### 《語り合いの風土を根づかせることが保育の質の改善の第一歩》

すばらしい教育や保育を実践する園を見学すると、例外なく、保育者どうしが語り合う姿が見られます。誰かから指示されているのではなく、本人たちが「語りたくてしかたない」といった様子で、日々の実践や子どもの姿について、あちこちで言葉が飛び交っているのです。「こんな活動をしたら、すごく盛り上がった」「〇〇ちゃんが、こんな姿を見せてくれた」といった会話を通して、情報を共有したり、良いところを取り入れ合ったりして保育の質を高めています。改まった会議ではなく、子どもの様子を収めた写真を見ながら短時間気軽に語り合うだけでも、とても価値があります。

こうした語り合いの風土をつくることが保育の質を高める第一歩と言えるでしょう。

(「これからの幼児教育 2017 春号ベネッセ教育総合研究所」掲載、大豆生田氏Q & Aより)

# も く じ

	ページ
1 補助の要件となる園内研修について	3
2 研修の進め方について	
(1) 県が別に定めるテーマ及び方法で実施する園内研修	4
(2) 幼児教育アドバイザーの派遣を受けて実施する 園内研修	20
(3) 県又は施設所在市町が実施し県が指定する園外研修 を受講した保育士等が、その内容を園内で伝達する ために保育士等に実施する研修	21
3 研修が終了したら	
(1) 研修実施報告書の作成	23
(2) 研修参加者個人アンケート	23
4 学ぶ保育士等応援事業補助金 園内研修関係Q & A	24
5 関係様式集	
(1) DVD 借用申込フォーム	26
(2) 幼児教育アドバイザー訪問依頼書	27
(3) 幼児教育アドバイザー利用アンケート	28
(4) 研修参加者個人アンケートフォーム	29
6 関係手続き・様式ダウンロード先	30

## 1 補助の要件となる園内研修について

「長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金」の交付の要件となる研修は以下のとおりです。令和6年4月1日～令和7年3月31日までに、要件を満たす園内研修を実施した園が交付の対象となります。

### 【実施要綱第4条】

次の(1)から(3)のうち、いずれかの園内研修等に取り組む保育施設等を対象とする。なお、園内研修等の実施にあたっては、保育士等全員が参加可能な方法(※1)により、それぞれが主体的に考え、意見を出し合うワークショップ形式を取り入れた方式で実施すること。

(1) 県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

(2) 幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修

(3) 県又は施設所在市町が実施し、県が指定する園外研修を受講した保育士等がその内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修

(※1) 保育士等全員が参加可能な方法とはどうすれば良いのですか？



#### 実施例①

午睡時間等を利用し、職員を半数に分け同じ研修を2回実施する。

1回目に出された意見と2回目に出された意見については、互いに交換し合い共有する。

#### 実施例②

参加できなかった職員に対し、実施した園内研修の内容（研修時に出された意見等も含めて）を共有し、意見交換テーマ（ワーク）に対する意見を園内研修参加者へも共有する。

## 2 研修の進め方について

### (1) 県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

(下のA～Dから選択)

- A DVD を活用した園内研修
- B 自園の保育についての事例カンファレンス
- C 特別支援教育の動画を活用した園内研修
- D 外国園児の受入れに関する動画を活用した園内研修

★各種研修ガイダンスやワークシート等は、県のホームページからダウンロードしてください。

長崎県学ぶ保育士等応援事業 URL (ダウンロードはこちら)

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/index.html>

★研修時間は70分～90分をめやすに設定してください。

#### A DVD を活用した園内研修

この研修は、2021年度文部科学省委託研究で作成されたDVD「明日の保育につなげるⅡ—動画を活用した研修の提案—」の中で、県幼児教育センターで選別した7つの動画（必須の講義動画とa～fの動画から一つを選択）を活用して行う園内研修です。

以下4点の内容を確認の上、取り組んでください。

- ・ 研修動画一覧
- ・ ワークシート (研修動画6つともに共通)
- ・ 研修の進め方
- ・ DVD の借用方法

<研修動画一覧>

事例を通して、幼児理解を深めるための研修ができます。

a	<p>「みんなでせんたくゴシゴシ」～遊びの広がりを支える幼児理解とは～ 3歳児</p> <p>3歳児が雨どいを使って水流しを楽しんでいるところに、4歳児が加わり、遊び場が崩れ始めます。そこで、保育者が環境の再構成をすることで、遊びが変化・発展していった事例です。</p> <p>#環境の再構成 #水遊び #友達とのつながり合い #言葉のリズム</p>
b	<p>「きのご研究所」～きのごとの関わりを通して自ら力を発揮する～ 4歳児</p> <p>4歳児がきのごとの関わりを通して、友達と遊ぶ楽しさや探求することの面白さを感じていきます。自然やものに関わり興味や関心を広げ、様々なことに気付いたり、不思議さを感じたりしている事例です。</p> <p>#自然との関わり #人との関わり #保育者の援助・寄り添い方 #環境の在り方 #探求心</p>
c	<p>「大型ブロックで基地をつくろう」 ～友達との関わりを視点に幼児の体験を捉える～ 5歳児</p> <p>5歳児になり、自分たちで「基地をつくろう」と集まり、友だちと協力したり、考えを出し合ったりしながら、大きな基地をつくっていく遊びの事例です。</p> <p>#大型ブロックあそび #イメージの共有 #達成感 #心の葛藤や折り合い #言葉のリズム #協同性</p>
d	<p>「おばけやしきをつくろう」～同じ目的に向かって役割を分担して遊ぶ～ 5歳児</p> <p>おばけやしきをつくろうと5歳児が奮闘します。同じ目的に向かって協力し合い、連携を図りながら試行錯誤をくり返し、遊びを完成させていく事例です。</p> <p>#試行錯誤 #目的の共有 #役割分担 #遊びが広がる #協同性</p>
e	<p>「カエルがほしい」～子どもの心の動きを感じてみよう～ 4・5歳児</p> <p>カエルがほしくてたまらない4歳児が、5歳児に頼んだり、自分で見つけようとしたりしましたが、とうとう片付けの時間になってしまいました。子どもの心の動きや状況をじっくりと追った事例です。</p> <p>#自然との関わり #異年齢の関わり #心の葛藤 #折り合い #友達との関わり</p>
f	<p>「落ち葉の魚・虫のひろば・セミの世界」 ～長期の視点で育ちを捉えてみよう～ 3～5歳児</p> <p>周囲の様子を見て過ごすことの多かった子どもが、遊びを通して興味や関心を広げ、友達との関わりが変容していきました。1人の子どもの3歳から5歳までを追った事例です。</p> <p>#自然との関わり #友達との関わり #異年齢との関わり #興味の変容 #探究心 #文字への興味や関心</p>

## 【A】DVD を活用した園内研修用ワークシート

### <エピソードの欄>

「これは大事な姿かもしれない」と思った子どもの姿や気付いたことを、考察などは入れずに事実のみを書きます。

### <幼児の体験を捉えるの欄>

「幼児の体験の捉え 2020」を見て、「エピソード」に記録したものが、どの体験に繋がっているかを書きます。一つのエピソードが、複数の体験に繋がる場合もあります。

エピソード	幼児の体験を捉える

## <研修の進め方>

### 研修前にすること

- ①園内研修リーダー（園長、主任など）は、DVDの中のa～fの中から、研修する動画を選びます。（◎講義の視聴は必須です）

#### 園内研修用 DVD の構成

- |                               |                                      |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| ◎ 講義「遊びを通した幼児の学び」（34分）        | <u>研修の中で視聴してください</u>                 |
| a 幼児理解「みんなでせんたくゴシゴシ」（10分）     | } <u>研修に使用する<br/>動画を選んでくだ<br/>さい</u> |
| b 幼児理解「きのこ研究所」（7分）            |                                      |
| c 幼児理解「大型ブロックで基地をつくろう」（11分）   |                                      |
| d 幼児理解「おばけやしきをつくろう」（7分）       |                                      |
| e 幼児理解「カエルがほしい」（9分）           |                                      |
| f 幼児理解「落ち葉の魚・虫のひろば・セミの世界」（9分） |                                      |

- ②選んだ動画の研修ガイダンスとワークシート、「幼児の体験の捉え 2020」を県幼児教育センターのホームページからダウンロードします。  
DVDを活用した園内研修 URL（ダウンロードはこちら）

[https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu\\_kensyu/](https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu_kensyu/)

- ③園内研修リーダーは、事前に研修ガイダンスを読み、研修の流れを頭に入れ、動画を一時停止するところを確認しておきます。

### 研修時にすること

- ④ 講義「遊びを通した幼児の学び」を視聴してください。
- ⑤ 研修ガイダンスとワークシート、「幼児の体験の捉え 2020」を配り、流れを全員で把握してから動画（a～fのうち一つ）を視聴してください。
- ⑥ 研修ガイダンスに沿って進めてください。



## <DVD の借用方法>

### 1 申し込み

下記の園内研修用 DVD 貸出申請フォームに必要事項を入力して申し込んでください。申請日から 1 週間以内に DVD が届きます。

※届かない場合は電話等でご連絡ください。

### 2 返却

研修が済んだらできるだけ速やかに返却してください（遅くとも申請日から 1 か月後まで）。破損しないよう梱包してください。

※ DVD の貸出は令和 7 年 2 月末までです。

※ 申込み内容に修正がある場合は、必ず担当者に連絡後、再度申込みをお願いします。

## 【DVD の申込先】

### 園内研修用 DVD 貸出申請フォーム

#### URL

<https://forms.office.com/r/ncpzii276e>

#### QRコード



## 【DVD の返却先】

〒850-8570

長崎県長崎市尾上町 3 番 1 号

長崎県庁 長崎県こども政策局 こども未来課内

長崎県幼児教育センター 宛

【お問い合わせ】 095-895-2686 (担当: 石田)

## B 自園の保育についての事例カンファレンス

「事例カンファレンス」とは、普段の保育の中で、心にとまった場面を記録し、それをみんなで共有し、協議することです。子ども理解や保育者の援助の在り方について、園全体で協議するのは保育の質の向上にとっても有効です。

### 研修の流れ

①事例をとる

②事例について説明する

③協議をする

①は園内研修日の前日までに30分程度時間を確保して、個人で写真や記録の整理をします。

②と③を合わせて60分程度園内研修をします。一つの事例について15分や20分と時間を決めておくとスムーズです。人数が多い場合は、グループに分かれて協議をするという方法もあります。

### ①事例をとる

#### ★ 記録の仕方は・・・

写真にとる方法、後から文字で整理する方法などがあります。やりやすい方法を園で決めてください。

#### ★ 「心にとまった場面」とは、例えば・・・

- ・子どもについて発見があり、他の人に伝えたいと思った場面
- ・子どもが生き生きと遊び、保育が盛り上がった場面
- ・行った環境構成や援助が、予想と違う展開をした場面
- ・子ども同士がよく関わり合っている場面
- ・保育についてアドバイスがほしい場面

「心にとまる」ということは「保育者の心が動く」ということで、そこには、何らかの意味があります。きまりはありません。自分の心が動いた場面を記録すればいいのです。うまくいった例だけでなく、うまくいかなかった例、援助に迷った例にも価値があります。

## ②事例について説明する

- ★ 事例（写真や記録）について、その場面の前後の流れや、自分が考えたことなどを説明します。

## ③協議をする

- ★ 事例について、他の人は気づきを言ったり、質問をしたりします。子どもの見方を他の視点から考えたり、環境構成や援助のよさを明確にしたり、他の方法に気付いたりすることができます。

- ★ テーマを決めて・・・

どんな場面を捉えても事例カンファレンスではありますが、例えば、園でテーマを決めて深めるという方法もあります。

例えば「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「友達との関わり」「自然との関わり」「伝え合い」「自己発揮」「挑戦」「トラブルによる育ち」「自己肯定感」「子どもの主体性を引き出す環境構成」「思考力の芽生え」など、いろいろあります。園全体で伸ばしたいところや深めたいところを1年間通して追究していくのもおもしろいですよ。



## C 特別支援教育の動画を活用した園内研修

<b>インターネットによる講義配信 N I S E 学びラボ 特別支援教育 eラーニング</b>	
★専用ホームページから利用申請が必要です。(申請方法は13～15ページに記載)	
動画2本視聴(約40～50分) 個人ワーク10分～ 協議20分～	
<b>講義内容と時間</b>	
① 幼児期における特別支援教育の考え方(32分) ② 幼児期の具体的な関わり方の実際(25分) ③ 幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり(22分) ④ 幼児期の関係機関との連携(20分) ⑤ 幼児期の個別の指導計画の作成と活用(20分)	
準備する物：講義資料(N I S E 学びラボのホームページからダウンロード) <b>【C】園内研修用のワークシート(県のホームページからダウンロード)</b>	
<b>配信講義動画</b>	<b>補足</b>
<b>▶動画スタート</b>  ○聞き逃しや再度確認したいことがあった場合には、画面のスライドを確認しながら、早戻しして再生できます。	＊ワークシートにメモをしながら動画を視聴します。  (メモの視点) ・自園で共通理解を図りたいこと ・自園でも取り入れたい実践例について ・動画の内容で協議したい話題 等
<b>▶動画終了</b>	<グループワークまたは全体> それぞれの捉えを話し合い、園における共通理解や共通実践を確認しましょう。 また、特別支援教育に係る日頃の疑問や悩みを出し合い、子ども、保護者への適切な支援の在り方について一人一人の考えを深めましょう。

**【C】特別支援教育の動画を活用した園内研修用ワークシート**

**<動画視聴のメモ>**


自園で共通理解を図りたいこと、自園でも取り入れたい実践例、動画の内容で協議したい話題等をメモします。

**<協議内容メモ>**

全員で共通理解したことや共通実践の内容などについて、話し合ったことをメモします。

動画視聴メモ	協議内容メモ

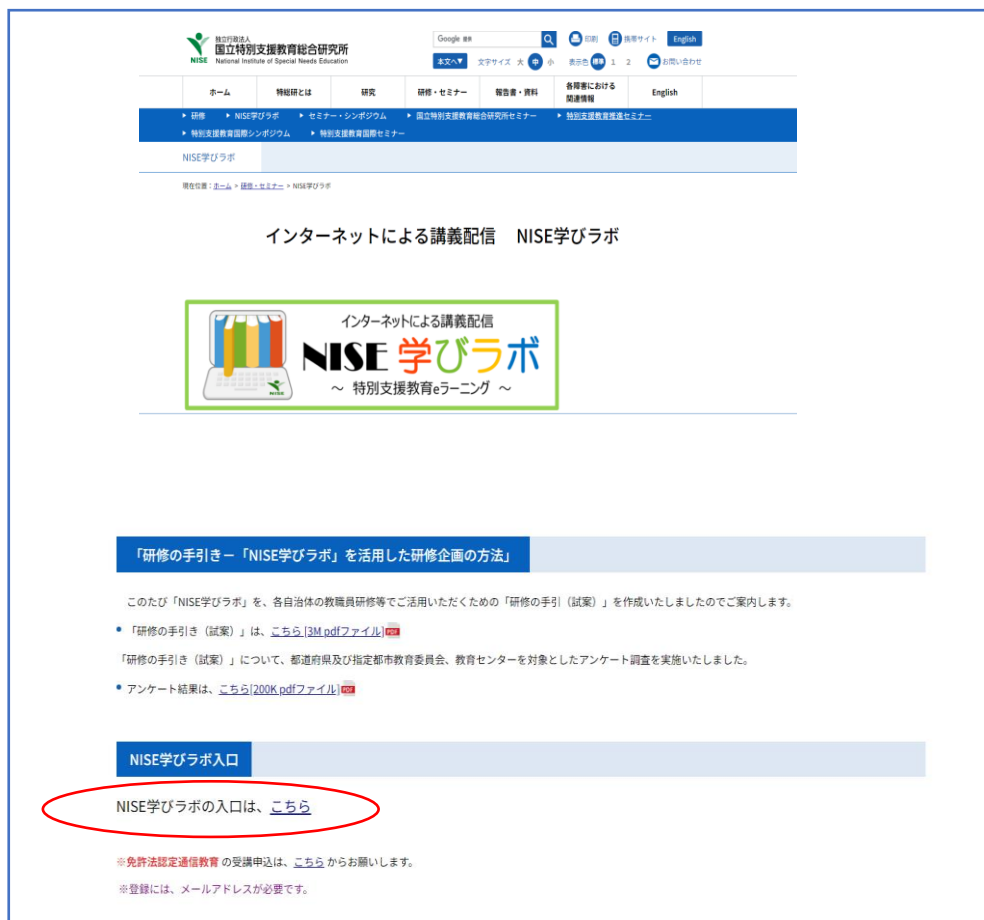
## <利用申請の方法>

国立特別支援教育総合研究所ホームページを検索します。  
以下、図の  をクリックして進めましょう。

(1枚目)



(2枚目)



インターネットによる講義配信 NISE学びラボ

インターネットによる講義配信  
**NISE 学びラボ**  
～ 特別支援教育eラーニング ～

**「研修の手引き - 「NISE学びラボ」を活用した研修企画の方法」**

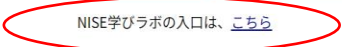
このたび「NISE学びラボ」を、各自治体の教職員研修等でご活用いただくための「研修の手引（試案）」を作成いたしましたのでご案内します。

- 「研修の手引き（試案）」は、[こちら\[2M.pdfファイル\]](#)です。

「研修の手引き（試案）」について、都道府県及び指定都市教育委員会、教育センターを対象としたアンケート調査を実施いたしました。

- アンケート結果は、[こちら\[200K.pdfファイル\]](#)です。

**NISE学びラボ入口**

NISE学びラボの入口は、 [こちら](#)

※免許法認定通信教育の受講申込は、[こちら](#)からお願います。

※登録には、メールアドレスが必要です。

(3枚目)



(4枚目)



利用規約を確認し、を入れる。

動作確認を行い、左にを入れる。

最後に、「同意する」をクリック

(5枚目)

<その後の作業>

「NISE 学びラボ」申請確定のお願いというメールが、利用申請の際に登録したメールアドレスに届き、メール内に示されたリンクから申請の確定を行う。

「NISE 学びラボ」利用申請承認のお知らせというメールが、利用申請の際に登録したメールアドレスに届き、割当られたユーザーIDでURLから、ログイン操作の確認を行う。


※初期パスワードは申請時のメールアドレスが設定されているため、初回ログイン時にパスワードの変更を行う。



これで利用申請完了！早速、研修コンテンツをのぞいてみよう！



## <実際の利用方法>

国立特別支援教育総合研究所ホームページを検索します。  
以下、図の  をクリックして進めましょう。

### (1枚目)



### (2枚目)

インターネットによる講義配信 NISE学びラボ

インターネットによる講義配信  
**NISE 学びラボ**  
～ 特別支援教育eラーニング ～

「研修の手引きー「NISE学びラボ」を活用した研修企画の方法」

このたび「NISE学びラボ」を、各自治体の教職員研修等でご活用いただくための「研修の手引（試案）」を作成いたしましたのでご案内します。

- 「研修の手引き（試案）」は、[こちら\[3M.pdfファイル\]](#)。

「研修の手引き（試案）」について、都道府県及び指定都市教育委員会、教育センターを対象としたアンケート調査を実施いたしました。

- アンケート結果は、[こちら\[200K.pdfファイル\]](#)。

**NISE学びラボ入口**

NISE学びラボの入口は、[こちら](#)

※免許法認定通信教育の受講申込は、[こちら](#)からお願います。  
※登録には、メールアドレスが必要です。

(3枚目)

ログインIDと自身で変更したパスワードを入力する。



(4枚目)



(5枚目)



(6枚目)

The screenshot shows the NISE Learning Lab interface. At the top, there is a navigation bar with the NISE logo, a '本文へ' (Back to text) button, and settings for text size (小, 中, 大), display color (標準, 1, 2), and a 'ふりがな' (Kana) toggle (OFF, ON). Below this is a secondary navigation bar with 'ホーム' (Home), 'ユーザー設定' (User Settings), and 'ログアウト' (Logout) buttons. The main content area is titled '受講一覧' (Course List) and shows a list of courses under the category '【NISE学びラボ】特別支援教育全般'. The course '幼児期における特別支援教育' is highlighted with a red circle. Other courses include 'インクルーシブ教育システム関連', '各学びの場における教育', '高等学校段階における特別支援教育', '役割と連携', '発達、生理・病理', and '各障害に関連する種検査'. A '分類選択に戻る' (Return to category selection) button is at the bottom left, and a 'トップに戻る' (Return to top) link is at the bottom center.

(7枚目)

The screenshot shows the NISE Learning Lab interface with the 'コース' (Course) selected as '幼児期における特別支援教育'. The main content area is titled 'コンテンツを選択してください。' (Please select content.) and lists five content items: '幼児期における特別支援教育の考え方', '幼児期の具体的な関わり方の実際', '幼児期の関係機関との連携', '幼児期の子どもをもつ保護者とのかわり', and '幼児期の個別の指導計画の作成と活用'. A red bracket on the right side of the content list points to a green callout box containing the text 'ここから選択' (Select from here). Below the content list is a 'コース選択に戻る' (Return to course selection) button. At the bottom, there is a '分類選択に戻る' (Return to category selection) button and a 'トップに戻る' (Return to top) link.

## D 外国園児の受入れに関する動画を活用した園内研修

動画 | 本視聴 (約 30 ~ 37 分)    グループワーク 25 分 ~    テキスト 15 分 ~

### 講義内容と時間

- ① 基礎理論研修：言語・文化的に多様な背景を持つ子どもたちが共に過ごせる保育 (36 分)
- ② テーマ別研修：多文化共生の学級経営～多様性を受け止め、育ち合う学級づくり～ (30 分)
- ③ テーマ別研修：入園受入れ時の対応と保護者支援 (37 分)
- ④ テーマ別研修：外国人幼児等の言葉を育む～学校での生活や学習を意識して～ (34 分)
- ⑤ テーマ別研修：実践事例から学ぶ園の特性に応じた保育～園の実情に即した活用に向けて～ (36 分)

### 内容構成

どの講義も以下の 4 つの内容で構成されています。

- ① 動画、スライド資料 (実際の研修時間に視聴)
- ② テキスト (スライドと説明がテキスト形式になっているので、できれば参加者分印刷する)
- ③ 園内研修実施ガイド (研修を進める人の台本)
- ④ 園内研修ワークシート (事前に参加者分印刷をする)

### 事前準備

- ① 全国幼児教育研究協会作成の研修プログラムを活用するため下のアドレスにアクセスする。  
[情報公開 | 公益社団法人 全国幼児教育研究協会 \(zenyoken.org\)](http://zenyoken.org)
- ② 園内研修リーダーは、事前に公表するパッケージの内容から「リーフレット」「園内研修を進めるにあたって」を熟読し、進め方を知る。
- ③ 「基礎理論研修」「テーマ別研修」から内容を選ぶ。
- ④ 必要な資料をダウンロード及び印刷をする。

### 進め方

園内研修リーダーは、動画視聴、グループワーク、テキストの順番を組み立てる。

(組み立て方は自由)

- <例>
- A 動画視聴→グループワーク→テキスト
  - B テキスト→動画視聴→グループワーク
  - C グループワーク→動画→テキスト

## (2) 幼児教育アドバイザーの派遣を受けて実施する園内研修

- ① 県幼児教育センターのホームページの以下のページから、訪問依頼書をダウンロードする。

訪問依頼書 URL (ダウンロードはこちら)

[幼児教育アドバイザーによる支援 \(長崎県幼児教育センター\) | 長崎県 \(pref.nagasaki.jp\)](#)

- ② 希望する研修のテーマを以下より選び、希望の日時を記載し、メール(FAX)で申し込む。

(希望研修テーマ：a 不適切保育の防止、b 保育についての助言、どちらかを選択)

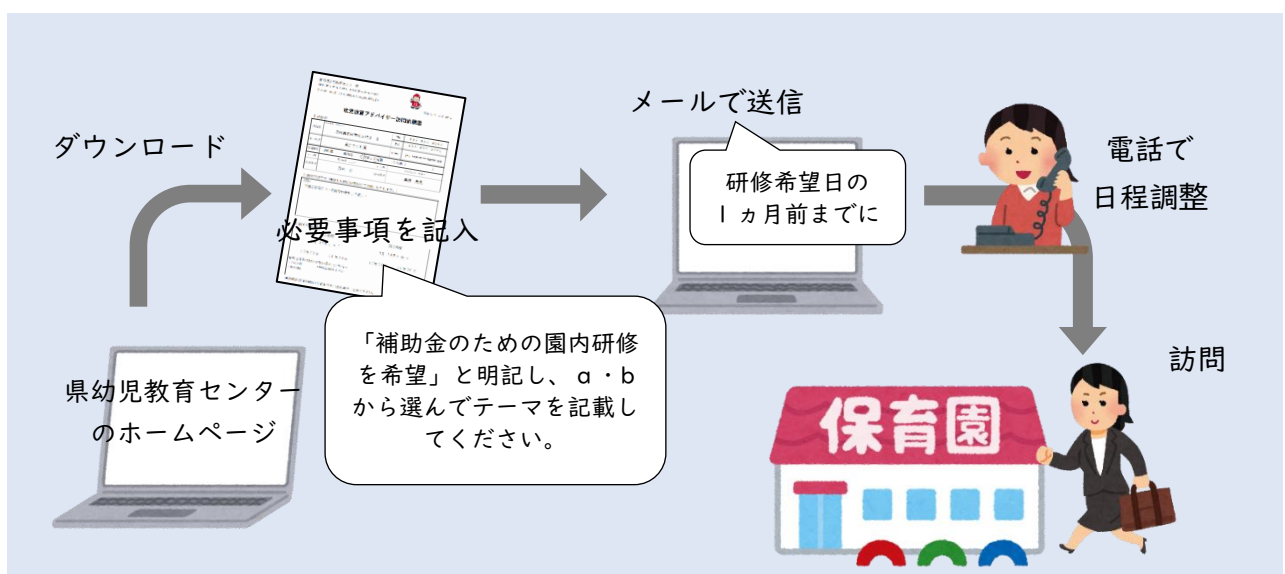
- ③ 受付後、県幼児教育センターから、電話等で日程調整がある。

- ④ 訪問日時が決まったら、幼児教育アドバイザーが園を訪問し、園内研修を実施する。

★職員全員が参加できない場合は、園内研修の様子を録画可能です。

後日、参加できなかった職員は録画した動画を視聴することで研修に参加したとみなします。

- ⑤ 研修修了後、幼児教育センターへ園からのアンケートと参加者アンケートを提出する。(補助金の実施報告書の下段の記載は省略できます。)



### (3) 県又は施設所在市町が実施し、県が指定する園外研修を受講した保育士等がその内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修

<対象となる研修一覧>

(令和6年6月24日時点)

	自治体名	研修名	日時	場所	問い合わせ先
1	長崎県	幼児期の教育・保育力向上研修会	8月23日	長崎県立総合体育館	県幼児教育センター
2	長崎県	幼児期の特別支援教育研修会	11月14日	長崎県庁	県幼児教育センター
3	長崎市	長崎の「保育力」向上研修 ※市内認可保育所・認定こども園・小規模保育事業所施設に所属する職員対象	7月4日 11月29日	長崎市役所2F 多目的スペース	長崎市幼児課
4	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「アンガーマネジメント怒りの感情は悪者!？」	6月28日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
5	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「子育てと子育てを支える方策と支援者の在り方について」	7月11日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
6	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 ①「保育で絵本を楽しむコツ」 ②「あそびのむし」になりましょう ～楽しくおもちゃで遊ぶには～	7月24日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
7	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「特別な配慮を必要とする幼児への支援」(仮)	8月9日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
8	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「子どもの育ちと学びをつなぐ」(仮)	8月21日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
9	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「楽しいだけじゃもったいない!」 リズム遊びで身につく力	11月6日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
10	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「気になる子どもと周りの子どもを繋ぐ保育者の役割～具体的な関わりを通して～」	12月13日	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
11	大村市	大村市教育・保育力向上研修会 「支援が必要な子の保護者の立場から考える園との関係」(仮)	1月 (調整中)	ミライ ON 多目的ホール	大村市幼児教育・保育支援センターいっば
12	東彼杵町 川棚町 波佐見町	東彼地区保育会保育研修会	6月30日	川棚町中央公民館	東彼地区保育会
13	東彼杵町	東彼杵町保育士研修会	7月23日 7月29日	東彼杵町総合会館	東彼杵町こども健康課

※長崎市の研修については、研修名部分に記載の園に所属する職員のみ対象

※大村市の研修については大村市内の教育・保育施設に所属する職員のみ対象

※各研修内容の詳細・申し込み先等は、各自治体からの案内等で確認してください。

※今後、決定する研修は、下記、ホームページにご案内しております。ご確認ください。

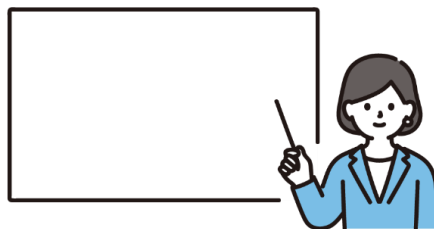
[「長崎県学ぶ保育士等応援事業」<研修> | 長崎県 \(pref.nagasaki.jp\)](http://pref.nagasaki.jp)

## <実施方法>

- 1 研修に参加した者が、配布された資料等をもとに研修内容を要約し、20分程度で園内研修参加者に伝達（講義）してください。

※事前に資料配布しておいても良いですが、研修時に必ず口頭で伝達する時間を設けてください。（約20分）

※講義の聞いているポイント、学び、  
気づきも含めて



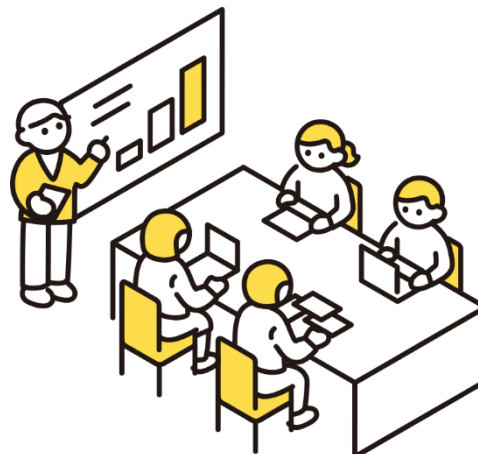
- 2 研修時に、グループワークや個人ワークで出された問い（課題）を、同様に自園の保育士等でも実施してください。研修時に出されたワークが2問以上ある場合は、そのうち2問程度を選択して、園内でも同じように実施してください。  
（ワーク30分+発表10分）

※外部研修で実施したワーク・実習が  
自園に合わない場合は、アレンジして



- 3 ワークで出された意見を参加者で共有し、意見交換してください。また、園内研修時に出された意見を紹介することや、研修時に講師が最後にまとめた内容を同様に伝達し、研修のまとめを行ってください。（10分）

※自園の実践にどう活かしていくか  
みなさんで話し合しましょう



### 3 研修が終了したら

#### (1) 研修実施報告書の作成

別表4 園内研修実施 計画・報告書					
施設名	こども未来幼稚園			施設種別	私立幼稚園
市町名	長崎市	園長名	こども未来子	記入者名	
幼児教育アドバイザー派遣（希望）				有	無
在籍保育者一覧					
職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
1 主幹教諭	長崎 花子	11 教諭	.....	21 教諭	.....
2 副主幹教諭	佐世保 太郎	12 教諭	.....	22	
3 教諭	島原 次子	13 教諭	.....	23	
4 教諭	.....	14 教諭	.....	24	
5 教諭	.....	15 教諭	.....	25	
6 教諭	.....	16 教諭	.....	26	
7 教諭	.....	17 教諭	.....	27	
8 教諭	.....	18 教諭	.....	28	
9 教諭	.....	19 教諭	.....	29	
10 教諭	.....	20 教諭	.....	30	
				在籍保育者数	21名
実施報告時は以下も記載してください。					
研修要件番号	(1)	研修テーマ	○○○		
研修日時（複数回実施した場合は複数記載してください）	8/10, 8/17		研修受講者数	20名	
未受講者の対応	後日研修資料と当日出た意見を配布し、個別に意見を提出してもらった。				
※幼児教育アドバイザー派遣を受けて園内研修を実施した場合は、以下の欄の記載は不要です。					
保育者から出た 主な意見等 (2,3項目を抜粋して記載してください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○○</li> <li>・×××</li> <li>・△△△</li> </ul>				
研修後所感 (研修を主導した人が記載してください)	.....				

#### (2) 研修参加者個人アンケート（スマホ等で各自入力）

実施後7日以内に、以下の URL から、各自入力するよう周知してください。

（手当支給と連動しているものではありません。手当等は別途園から支給されます）



[長崎県学ぶ保育士等応援事業 園内研修実施後アンケート \(office.com\)](https://office.com)





## 4 学ぶ保育士等応援事業補助金 園内研修関係Q & A

Q1 研修は、従来から園で行っているが、今までの研修はこの補助金の対象とならないのか。

A1 各園で、研修を行い、保育の質の向上を図られていることは承知しているが、更なる保育の質の向上を図るため、次の(1)から(3)のうち、いずれかの園内研修等に取り組む施設を対象とします。

なお、園内研修等の実施にあたっては、保育士等全員が参加可能な方法により、それぞれが主体的に考え、意見を出し合うワークショップ形式を取り入れた方式で実施を行うようにしてください。

(1) 県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

(2) 幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修

(3) 県又は施設所在市町が実施し、県が指定する園外研修を受講した保育士等がその内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修。

Q2 幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修となっているが、県の幼児教育アドバイザー以外では、どのような人を想定しているのか。研修は、従来から、園で行っているが、今までの研修はこの事業の対象とならないのか。

A2 県設置の幼児教育アドバイザー以外に、市町が設置しているアドバイザーや行政保育士、保育士支援アドバイザー(※1)、ECEQコーディネーター(※2)など幼児教育の専門知識があり、園内研修の支援ができる者を想定しているが、対象となるか不明な場合は、県こども未来課へ問い合わせてください。

(※1) 保育士支援アドバイザー：保育士や保育事業者等への巡回支援事業(保育対策総合支援事業費補助金)における保育施設を巡回し保育の質向上に関する助言や支援する者

(※2) ECEQコーディネーター：(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発したECEQ(公開保育を活用した幼児教育の質向上システム)の実施をサポートする者

Q3 具体的な研修のやり方がわからない場合は、どうしたらよいのか。

A3 本ガイドブックに研修のやり方を解説していますが、ご不明な点については、県のこども未来課へお尋ねいただくか、(2)の幼児教育アドバイザーの訪問支援を受けて実施する園内研修であれば、その準備や実施についてはアドバイザーが主導しますので、ご活用ください。

Q 4 複数回に分けて実施しても、当日急病などで、どうしても実施できなかった者には支給できないのか。

A 4 どうしても受講できなかった者については、研修当日出された意見も含め、研修内容を共有し、欠席者からも意見等を聴取(提出)いただくなどの方法で出来る限り受講者と同じ効果が出るように工夫していただければ、出席したこととしてみなし支給することが可能です。ご不明な点は、県こども未来課へ問い合わせてください。

Q 5 補助金申請前に、幼児教育アドバイザーの訪問支援を受けて園内研修を実施していた場合は、その園内研修を補助の要件としてもよいのか。

A 5 補助金を受ける年度の4月1日から3月31日までに実施した園内研修であれば、この補助金の交付要件を満たすこととなりますので、例えば今年度7月に補助金を申請する場合、4～6月に要件を満たす園内研修(※)を実施していれば、補助金を受けることができます。

(※) 要件を満たす園内研修の詳細については、毎年度、6月頃更新する「園内研修ガイドブック」(本ガイドブック)に掲載することとしています。

Q 6 幼児教育アドバイザーの訪問依頼は2回目に同じ内容で実施してもらえるのか。

A 6 園内研修の様子を録画していただくことも可能ですので、1回目に参加できなかった職員は、後日、録画した動画を視聴することで研修に参加したとみなします。録画対応を行えば、2回依頼する必要はありません。

Q 7 要件を満たす研修時間のめやすはどのくらいか。

A 7 ワークショップを取り入れた内容で、70分～90分程度を想定していますが、あくまでめやすです。

Q 8 DVDの貸出期間を延長したいがどうすればよいか。

A 8 延長はできません。一度、返却していただき、再度申込みをお願いします。

Q 9 幼児教育アドバイザーの訪問を受けたときに、受講後に感想を提出したが、個人アンケートにも回答が必要か。

A 9 必要です。研修参加者個人アンケートには、本事業に係る設問が含まれているためです。

## 5 関係様式集

### 園内研修用DVDの貸出申込フォーム



1. 申込み者名 \*

2. 役職名 \*

- 園長、所長、施設長  
 その他

3. 施設名（法人名等は除く。例：ココロ保育園） \*

4. 施設種別 \*

- 幼稚園（幼稚園型認定こども園含む）  
 幼保連携型認定こども園  
 保育所（保育所型認定こども園含む）  
 認可外保育施設  
 その他

5. 施設連絡先（電話番号） \*

6. 施設住所（郵便番号から入力してください。） \*

7. 研修予定日（本日の申請から返却までが1か月以内の日。複数ある場合は最初の日を記入。） ※2～3か月先の予約等、不可。 \*

8. その他・連絡事項（任意記入）

★お申込みはDVD使用予定日の10日前からです。（2～3か月先の申込み不可。）  
★貸出料金は無料（ただし、送料負担。）  
※破損された場合は弁償扱いとなります。





## 幼児教育アドバイザー訪問依頼書

### 1 依頼者

所在地		TEL	
		FAX	
園・所名		E-mail	
施設種別	幼稚園      保育所      認定こども園      その他（                      ）		
ふりがな		ふりがな	
代表者名		担当者名	

### 2 訪問希望内容（※詳しい内容は電話にてお伺いいたします。）

### 3 訪問希望日時

第1希望	第2希望
月 日（ ）	月 日（ ）
時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分
※特に日時の指定がない場合はこちらへ	

※訪問希望日の約1か月前までを目途にお申し込みください。



令和 年 月 日

※上記の「★」記号を「@」記号に置き換えて送信してください。

## 幼児教育アドバイザー利用アンケート

訪問実施日 令和 年 月 日 ( )

園名

施設長名

本日の訪問支援について (該当する番号に○をつけてください)

1. 非常に役立った    2. 役に立った    3. どちらでもない    4. 役に立たなかった

(1) 参考になったこと等があればご記入ください。

(2) 受けたい研修等ございましたらご記入ください。

(3) 幼児教育アドバイザー訪問支援についてお気付きやご感想があればご記入ください。

(4) 訪問支援はどこでお知りになりましたか。( )に○をお書きください。(複数回答可)

( ) 県のホームページ    ( ) 幼児教育センターだより    ( ) 新聞・テレビ

( ) 研修会    ( ) 知人からの紹介    ( ) その他 [                      ]



ご協力ありがとうございました



## 研修参加者個人アンケートフォーム

### 長崎県学ぶ保育士等応援事業 園内研修実施後アンケート

このアンケートは、長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金の要件となっている園内研修を受講した方へのアンケート調査です。本事業は、保育者がお互いの専門性を高めるとともに、その魅力ややりがいを再認識していただくことを目的に実施しています。今後の事業に活かしていきますので、アンケートへのご協力をお願いします。

\* 必須

設問1 あなたについてお答えください

1. あなたが勤務している施設の種別は \*

保育所

幼稚園

幼保連携型認定こども園

保育所型認定こども園

幼稚園型認定こども園

地域型保育事業所（小規模保育等）

認可外保育施設

その他

2. あなたが勤務している施設名を回答してください（法人名は省略してください） \*

3. あなたの雇用（勤務）形態を教えてください

正規職員（フルタイム）

非正規職員（フルタイム）

非正規職員（パートタイム）

その他

4. あなたの保育士等としての勤務経験年数を教えてください（他園での経験も含めてください）

1～5年目

6～10年目

11～15年目

16～20年目

21年目以上

5. あなたの担当しているクラスは（複数のクラスを担当している場合は主に入っているクラスを回答してください）

0歳児クラス

1歳児クラス

2歳児クラス

3歳児クラス

4歳児クラス

5歳児クラス


その他

★研修の受講後1か月以内に、受講者全員がスマホ又はパソコンから入力してください！





## 6 関係手続き・様式ダウンロード先

	ダウンロードするもの	URL 等
(1) A	DVD を活用した園内研修 研修ガイダンス・ワークシ ート	「長崎県学ぶ保育士等応援事業」＜研修＞   長崎県 ( <a href="http://pref.nagasaki.jp">pref.nagasaki.jp</a> ) <a href="https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu_kensyu/">https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu_kensyu/</a>
	DVD の貸出申込フォーム	<a href="https://forms.office.com/r/ncpzii276e">https://forms.office.com/r/ncpzii276e</a>
(1) C	特別支援教育研修用動画	講義配信 N I S E 学びラボ <a href="http://www.nise.go.jp">NISE 学びラボ</a> - 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 <a href="https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online">https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online</a>
	特別支援教育用ワークシ ート	「長崎県学ぶ保育士等応援事業」＜研修＞   長崎県 ( <a href="http://pref.nagasaki.jp">pref.nagasaki.jp</a> ) <a href="https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu_kensyu/">https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/manabukensyu/manabu_kensyu/</a>
(1) D	外国園児の受け入れに関 する研修用動画・スライ ド・研修ガイド・ワークシ ート	(公益社団法人) 全国幼児教育研究協会 <a href="http://zenyoken.org">情報公開   公益社団法人 全国幼児教育研究協会</a> ( <a href="http://zenyoken.org">zenyoken.org</a> ) <a href="https://zenyoken.org/about/report/">https://zenyoken.org/about/report/</a>
(2)	幼児教育アドバイザー 訪問依頼書	長崎県公式 HP (長崎県幼児教育センター) <a href="http://www.pref.nagasaki.jp">幼児教育アドバイザーによる支援 (長崎県幼児教育セン ター)   長崎県 (pref.nagasaki.jp)</a>
	幼児教育アドバイザー 利用アンケート	<a href="https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/youjikyoiuku-center/youjikyoiukuadvisor/609255.html">https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kosodateshien-shoshikataisaku/youjikyoiuku-center/youjikyoiukuadvisor/609255.html</a>
共通	研修参加者個人アンケ ート	長崎県学ぶ保育士等応援事業 園内研修実施後アンケ ート ( <a href="https://forms.office.com/r/ncpzii276e">office.com</a> ) 



このガイダンスを活用いただき、各園・所における  
園内研修がますます充実することを願っております。  
すべては、長崎県に生きる子どもの幸せのために。

